

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網で1～2回目、秋芽網では3～5回目を実施しています。植物プランクトンは概ね全域で先週と比べて増加傾向です。栄養塩は県内全域で減少し、特に知多西岸地区の南部と知多東岸地区では少ない状態となっています。水試プイ2基の平均観測水温及び漁業生産研究所観測水温は平年よりも0.6℃高い値を示しています。カモや魚類の食害は減少しているようですが、水温が高い間は注意が必要です。一部の地区ではあかぐされ病の蔓延が見られます。適切な網管理と早期摘採を心がけましょう。

2 気象・海況

<水温> 1月17日

2～3号 プイ平均 (-3.5m)	日平均水温	8.4℃
	平年差	+0.6℃

<水温> 1月18日

漁生研 (-1.0m)	10時水温	10.9℃
	平年差	+0.6℃

<潮位偏差> 1月17日

名古屋港	5日平均※	+5 cm
	偏差	-2 cm

※1月13日～17日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北中部: やや少ない、南部: 少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
西三河地区	やや多い～やや少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない～少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁週間天気予報より 予報期間: 1月18日から1月24日)

今後1週間	期間を通じて、最高気温と最低気温は高い日が多い見込みで、かなり高い日もみられるでしょう。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病・障害 その他
知多西岸地区	冷蔵: 1～2回 秋芽: 3～4回	冷蔵: 400～1,000枚 秋芽: 400～800枚	概ね良好 一部でB系統	一部でカモ	一部であかぐされ
知多東岸地区	冷蔵: 1回 秋芽: 4～5回	冷蔵: 300～800枚 秋芽: 500～1,200枚	概ね良好 一部でC系統	なし	病害なし
西三河地区	冷蔵: 2回	400～700枚	概ね良好	なし	病害なし
東三河地区	秋芽: 3～4回	1,000～1,500枚	概ね良好	なし	病害なし

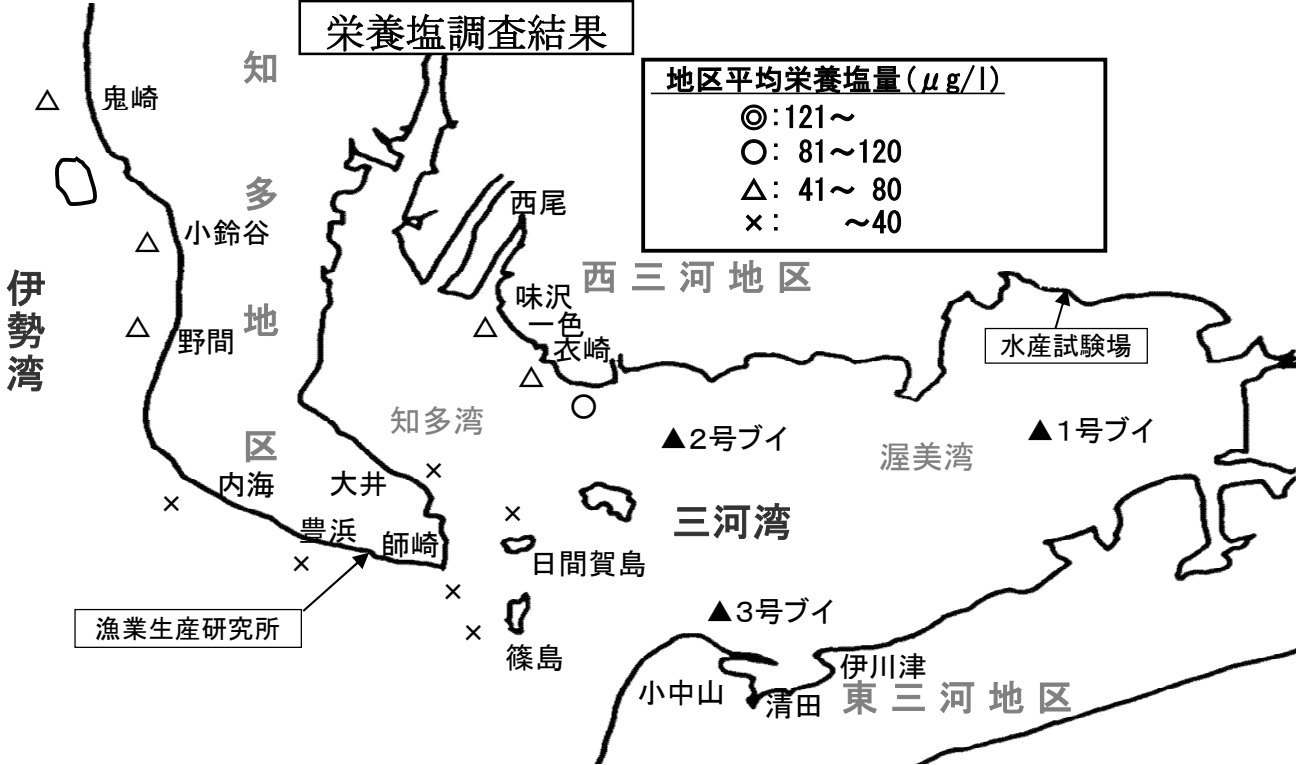
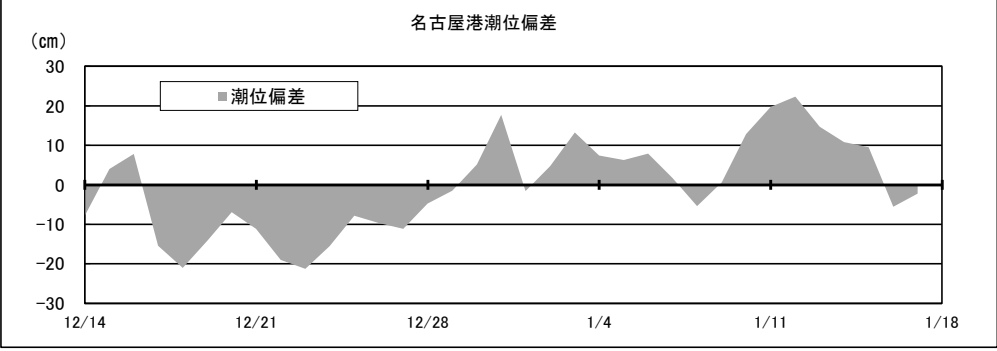
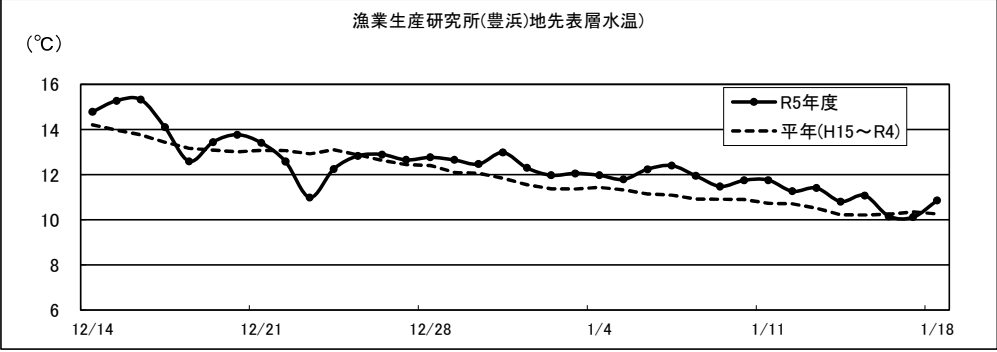
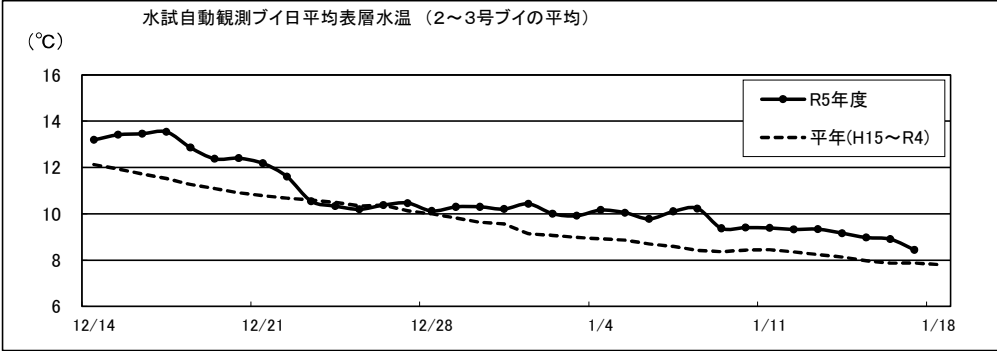
4 今後の管理

- あかぐされ病やスミノリ症などの予防や蔓延防止のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 食害が発生している漁場では、防除網等の対策に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測プイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は1月25日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日：知多、西三河：1月18日（木）、東三河：調査終了
 調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会